

景況などに関する会員アンケート

調査結果

平成 27年 4月

北陸経済連合会

目次

1. アンケート調査実施概要	1
2. アンケート調査結果概要	2
総括	2
I. 景気動向	3
II. 業績	5
III. 設備投資	7
IV. その他（会員としてのメリット）	9
(海外進出について)	
参考（アンケート調査結果）	11
I. 景気動向	11
II. 業績	14
III. 設備投資	17
IV. その他（会員としてのメリット）	21
(海外進出について)	

1. アンケート調査実施概要

○実施概要

北陸の景気動向や業況その他について、会員の意見、要望を的確、迅速に把握し、その結果を報告するとともに、各方面への要望活動に活かすため、北陸地域の景況などに関するアンケート調査を実施した。[今回で33回目]

○調査時期

平成27年2月20日～3月5日

○調査対象

北陸経済連合会会員企業

○回収率

回答率60.0%（送付企業300社、回収数180社）

○調査企業概要

本社の所在地	回収数	割合
富山県	69	38.3%
石川県	57	31.7%
福井県	18	10.0%
北陸三県以外	36	20.0%
計	180	100.0%

資本金	回収数	割合
1億円未満	64	35.6%
1億円～10億円未満	50	27.8%
10億円以上	66	36.7%
計	180	100.0%

調査結果の取りまとめにおいては、規模別を以下の基準で分類することとする。

【規模別】

- 大企業：資本金10億円以上
- 中堅企業：資本金1億円以上10億円未満
- 中小企業：資本金1億円未満

	業種	回収数	割合
製造業	食料品製造業	3	1.7%
	繊維工業	2	1.1%
	木材・紙・パルプ製造業	1	0.6%
	出版・印刷・同関連業	7	3.9%
	化学工業	7	3.9%
	鉄鋼業・非鉄金属製造業	7	3.9%
	金属製品製造業	9	5.0%
	機械工業	8	4.4%
	その他製造業	19	10.6%
	非製造業	卸売業	12
小売業		4	2.2%
建設業		34	18.9%
電気・ガス・水道業		4	2.2%
運輸業		11	6.1%
農・林・漁業		0	0.0%
鉱業		0	0.0%
金融業・保険業		19	10.6%
不動産		1	0.6%
サービス業		14	7.8%
その他の非製造業	18	10.0%	
計		180	100.0%

	業種	回収数	割合
製造業		63	35.0%
非製造業		117	65.0%
計		180	100.0%

2. アンケート調査結果概要

[総 括]

北陸の景気動向 ……足もとは回復基調にあることがうかがえ、 27年度上期はさらに改善を見込む企業が増加

- ・現在の北陸地域の景気については、「すでに回復」「回復基調」とみている企業が約8割(79.5%)を占め、回復基調にあることがうかがえる。
- ・26年度下期の景気について、景気判断BSI(「良い」と答えた割合から「悪い」を引いた値)でみると、41.6(前回11.0)と改善している。
また、来期(27年度上期)の見通しについては65.0と、今期からの更なる改善が見込まれている。
- ・現在の景気が「底這い」「下降」とした企業については、約7割(66.6%)の企業が27年度中には回復に転じるとみている。

業績

……足もとは改善傾向にあり、27年度上期も改善を見込む企業が増加

- ・現在の業績水準については、「大変良い」「良い」とみている企業が33.9%、「悪い」「大変悪い」とみている企業が16.6%と、改善傾向にあることがうかがえる。
- ・26年度下期の業績について、業績判断BSI(「改善」と答えた割合から「悪化」を引いた値)でみると、今期は15.6と、前回調査(26年度上期)の6.1からプラス幅が広がっている。また、規模別では、中小企業において業績が改善したとする企業が大幅に増加している(今期25.0(前回1.6))。
- ・来期(27年度上期)の見通しについては36.1と、改善を見込む企業が増加している。
- ・経営上の課題としては、「人材養成・確保」(75.6%)を挙げる企業が最も多く、次いで「国内販売力の強化」(53.9%)となっている。

設備投資

……現状の設備水準は適正とする企業が大多数で、27年度上期の設備投資見通しも増加傾向

- ・現在の設備水準については、「適正である」と答えた企業が75.6%で、前回調査(74.7%)を上回った。
- ・設備投資の前年対比については、26年度は「増加した」と答えた企業(29.4%)が「減少した」と答えた企業(17.2%)を上回った。27年度の見込みについても、「増加する」と答えた企業(34.4%)が「減少する」と答えた企業(12.8%)を上回った。

その他

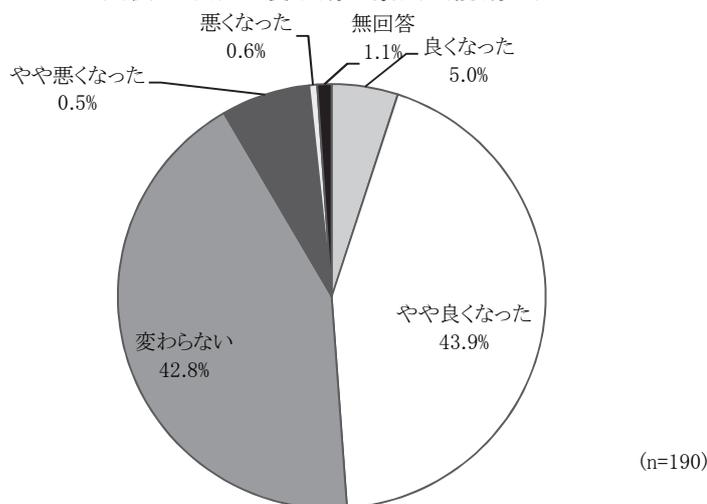
- ・【当連合会の会員としてのメリット】
会員の半数が講演会、セミナー、懇談会への参加、人的ネットワークの形成、地域経済の活性化方策に対する意見反映をメリットとして答えている。
- ・【貴社の国際化について】
今後、国際化について「拡大する」と答えた企業は前回調査(H25)40%に対し35%に減少している。「現状維持」は23.3%でほぼ変わらない結果であった。

I. 景気動向

足もとは回復基調にあることがうかがえ、27年度上期はさらに改善を見込む企業が増加

- ・ 26年度下期の景気動向については、前期（26年度上期）と比べて「良くなった」「やや良くなった」と答えた企業が48.9%で、「やや悪くなった」「悪くなった」の1.1%を大きく上回った。（図表1）
- ・ 26年度下期の景気について、景気判断BSI（図表2、※）では41.6となり、前回調査の現状（26年度上期）判断の11.0から大幅に改善し、景気は良くなっているとみている企業が増加している。業種別にみると、製造業が30.2（前回0.0）、非製造業が47.9（前回16.3）とどちらも大きく改善した。
- ・ 来期（27年度上期）の見通しについては 65.0と、さらに景気が良くなるとみている企業が増加している。（図表2）
- ・ 26年度下期の北陸地域の景気については、「すでに回復」「回復基調」とみる企業が79.5%と、前回調査（66.3%）を上回り、回復基調がより確かなものになりつつあることがうかがえる。（図表3）
- ・ 現在の景気が「すでに回復」「回復基調」とした企業について、回復した理由を尋ねると、「企業収益の回復」が50.3%と最も多く、「公共投資の効果」、「設備投資の回復」がそれぞれ35.7%で続いている。（図表4）
- ・ 一方、現在の景気が「底這い」「下降」とした企業に対し、今後回復に転じると予想される時期について尋ねたところ、27年度上期、27年度下期とみる企業がそれぞれ33.3%となり、27年度中には回復に転じるとみる企業が7割近くを占めている。（図表5）

図表1. 平成26年度下期の景気（前期比）



図表2. 平成26年度下期の景気判断と見通し

※景気判断BSI

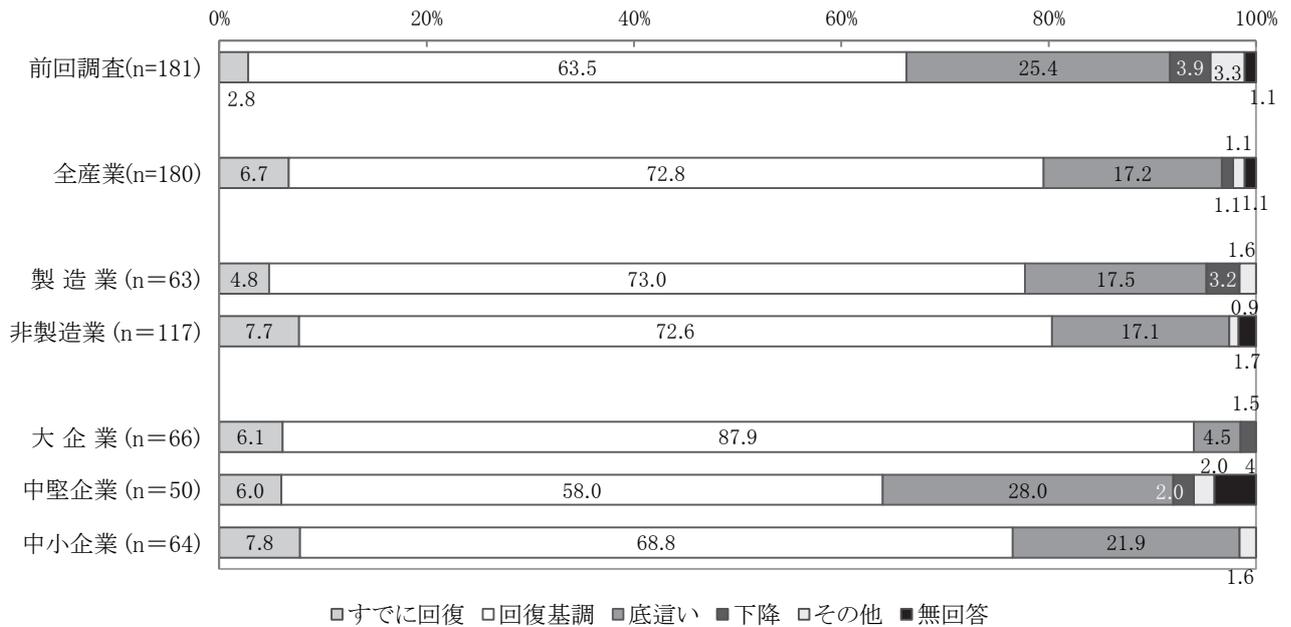
（「良い」「やや良い」） - （「悪い」「やや悪い」）社数構成比

単位：%ポイント

	前回調査		今回調査			
	26年4～9月(前期)	26年10～3月(今期)		27年4～9月(見通し)		
	景気判断BSI	景気判断BSI	変化幅	景気判断BSI	変化幅	
全産業	11.0	41.6	30.6	65.0	23.4	
業種	製造業	0.0	30.2	30.2	57.1	26.9
	非製造業	16.3	47.9	31.6	69.2	21.3
規模	大企業	22.4	54.6	32.2	72.7	18.1
	中堅企業	▲ 2.2	36.0	38.2	60.0	24.0
	中小企業	8.8	32.9	24.1	61.0	28.1

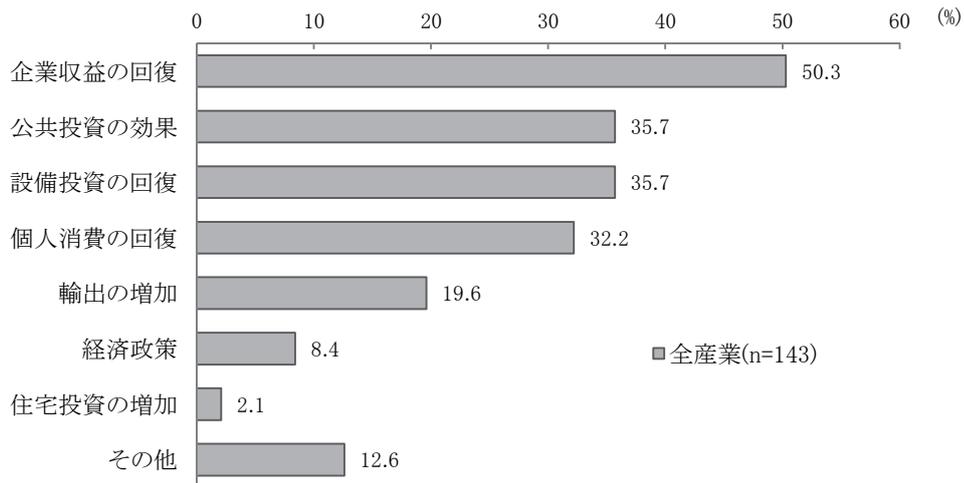
注) 26年10～3月(今期)の変化幅は26年4～9月(前期)との対比、27年4～9月(見通し)の変化幅は26年10～3月(今期)との対比。

図表3. 平成26年度下期の景気基調



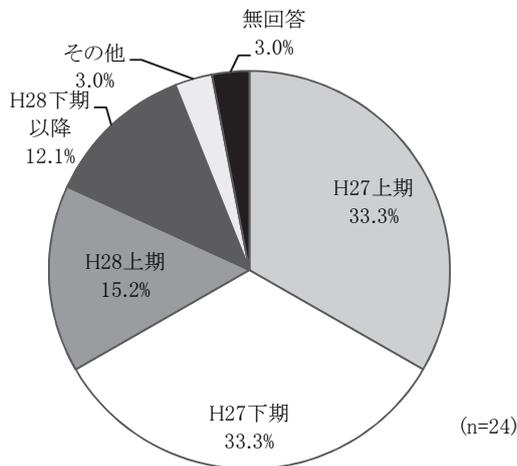
図表4. 平成26年度下期の景気が良い理由（複数回答）

景気が「すでに回復」「回復基調」と回答された企業



図表5. 北陸地域の景気が回復に転じる時期

景気が「底這い」「下降」と回答された企業



Ⅱ. 業績

足もとは改善傾向にあり、27年度上期も改善を見込む企業が増加

- 26年度下期の業績について、業績判断BSI（図表6 ※）の現状判断は、15.6となり、前回調査（26年度上期）の6.1からプラス幅が拡大した。
- 業種別でみると、製造業が9.6（前回3.4）、非製造業が18.8（前回7.3）とともに増加している。
規模別では、大企業が15.2（前回10.5）、中堅企業が4.0（前回6.4）、中小企業が25.0（前回1.6）となり、特に、中小企業において、業績が改善したとする企業が大幅に増加している。（図表6）
- 来期（27年度上期）の見通しについては36.1と、改善を見込む企業が増加している。業種別でみると、製造業が38.1、非製造業が35.1と、いずれも改善を見込む企業が悪化を見込む企業を大きく上回っている。また、規模別でも、規模を問わず、改善を見込む企業が大幅に増加している。（図表6）
- 現在の業績水準については、「大変良い」「良い」とみている企業が33.9%、「悪い」「大変悪い」とみている企業が16.6%となっており、業績水準も改善傾向にあることがうかがえる。（図表7）
- 経営上の課題では、「人材養成・確保」（75.6%）が最も多く、次いで「国内販売力の強化」（53.9%）となり、「新分野への進出」（33.3%）、「新商品の開発」（25.6%）がこれに続いている。（図表8）

図表6. 平成26年度下期の業績判断と見通し

※業績判断BSI

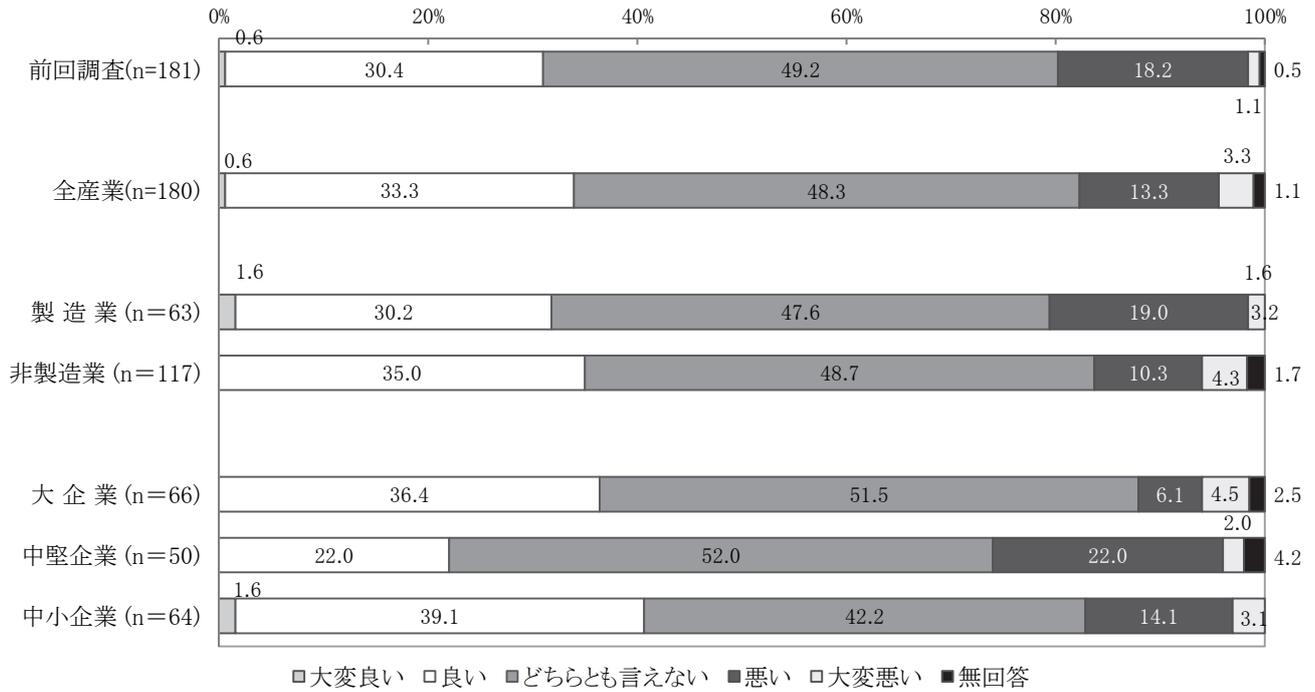
（「改善」「やや改善」） - （「悪化」「やや悪化」）社数構成比

単位：%ポイント

		前回調査		今回調査		
		26年4～9月(前期)		26年10～3月(今期)		27年4～9月(見通し)
		業績判断BSI	業績判断BSI	変化幅	業績判断BSI	変化幅
全産業		6.1	15.6	9.5	36.1	20.5
業種	製造業	3.4	9.6	6.2	38.1	28.5
	非製造業	7.3	18.8	11.5	35.1	16.3
規模	大企業	10.5	15.2	4.7	42.4	27.2
	中堅企業	6.4	4.0	▲ 2.4	34.0	30.0
	中小企業	1.6	25.0	23.4	31.2	6.2

注) 26年10～3月(今期)の変化幅は26年4～9月(前期)との対比、27年4～9月(見通し)の変化幅は26年10～3月(今期)との対比。

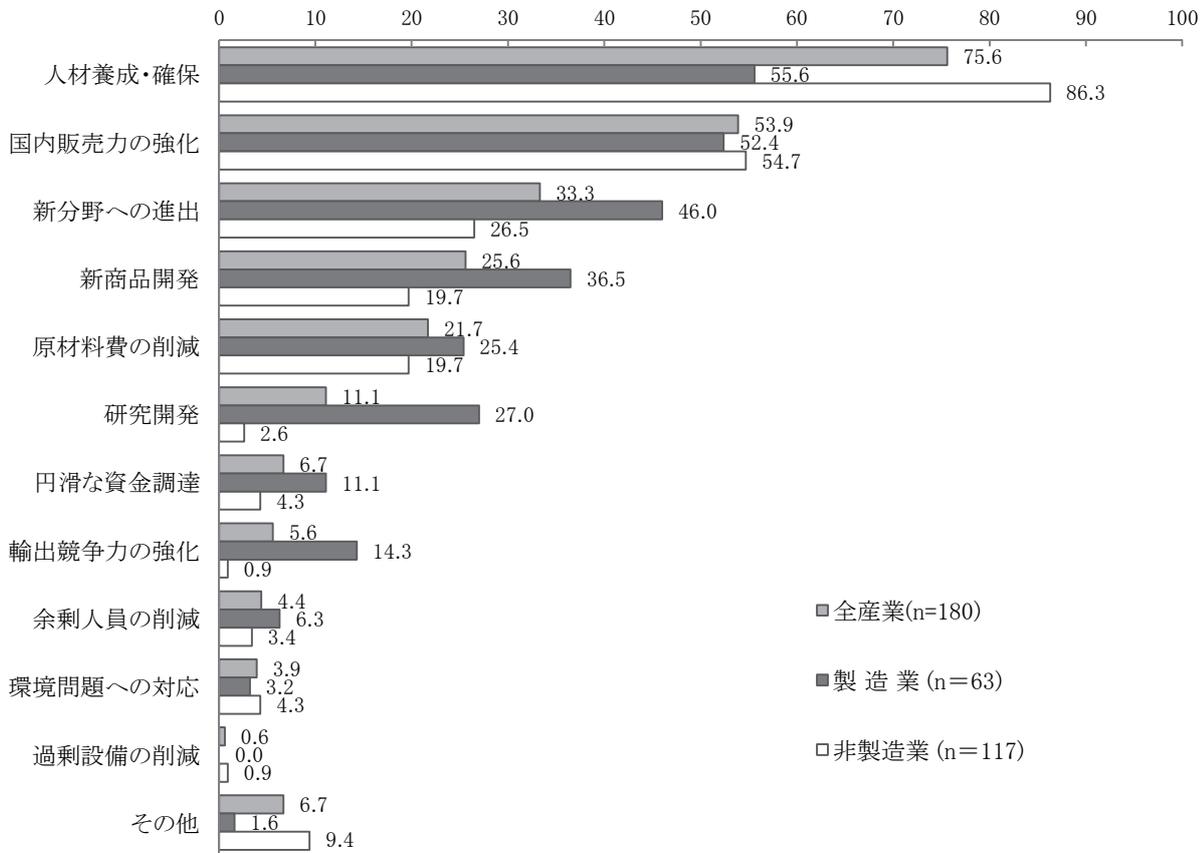
図表7. 現在の業績水準



図表8. 経営上の課題 (3つまで回答)

【業種別】

(%)

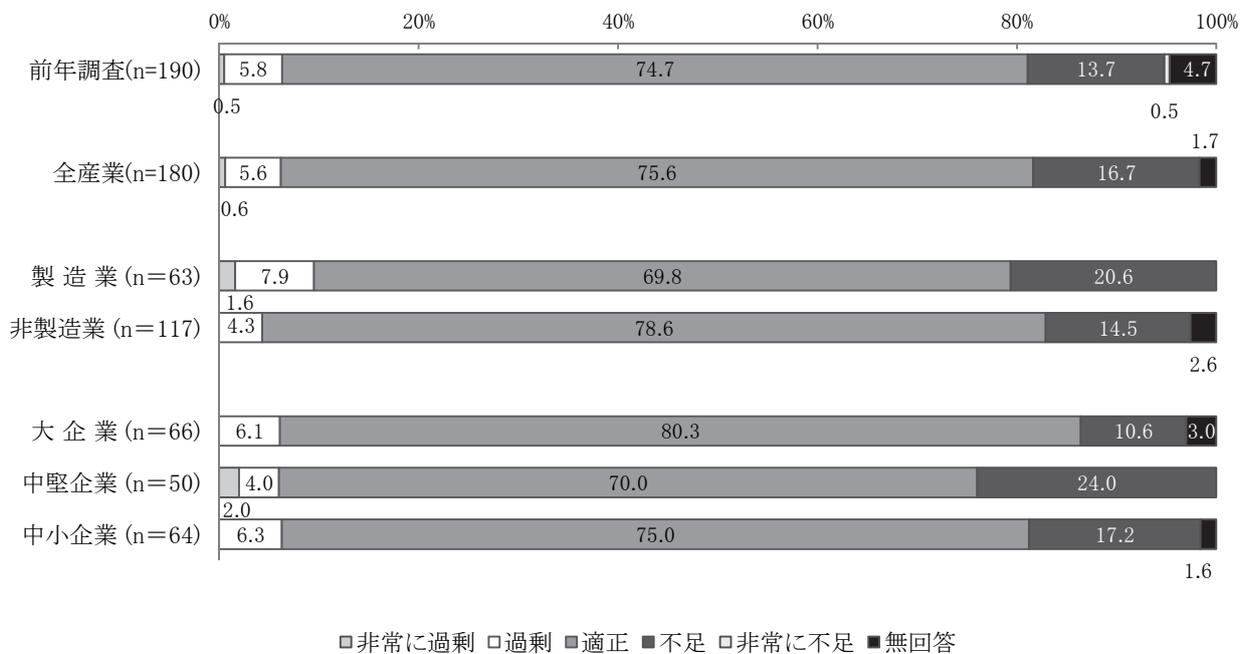


Ⅲ. 設備投資

現状の設備水準は適正とする企業が大多数で、27年度上期の設備投資見通しも増加傾向

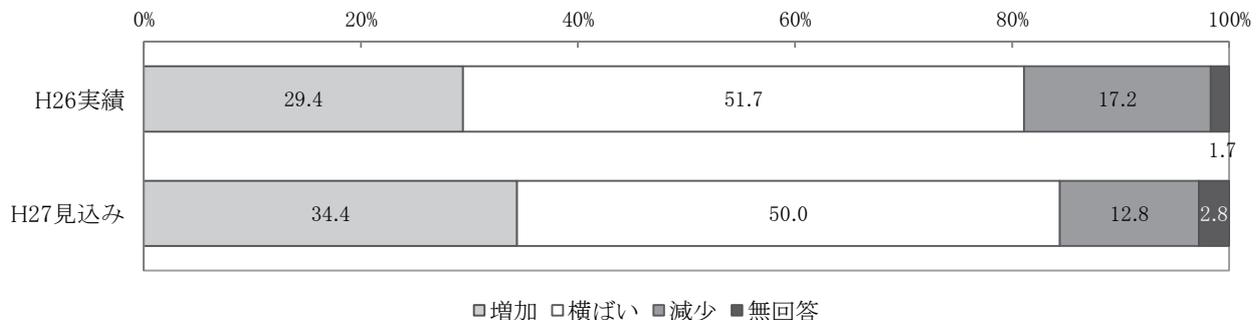
- ・ 現在の設備水準については、「適正である」と答えた企業が75.6%で、前回調査（74.7%）を上回った。（図表9）
- ・ 設備投資の前年対比については、26年度は「増加した」と答えた企業（29.4%）が「減少した」と答えた企業（17.2%）を上回った。27年度の見込みについても、「増加する」と答えた企業（34.4%）が「減少する」と答えた企業（12.8%）を上回り、引き続き設備投資は増加傾向にある。（図表10）
- ・ 27年度の設備投資が増加するとした理由を尋ねたところ、「設備の維持・更新が必要」（72.6%）が最も多く、「業績が改善する見通し」（24.2%）、「国内需要が増加する見通し」（22.6%）が続いている。（図表11）

図表9. 現在の設備水準



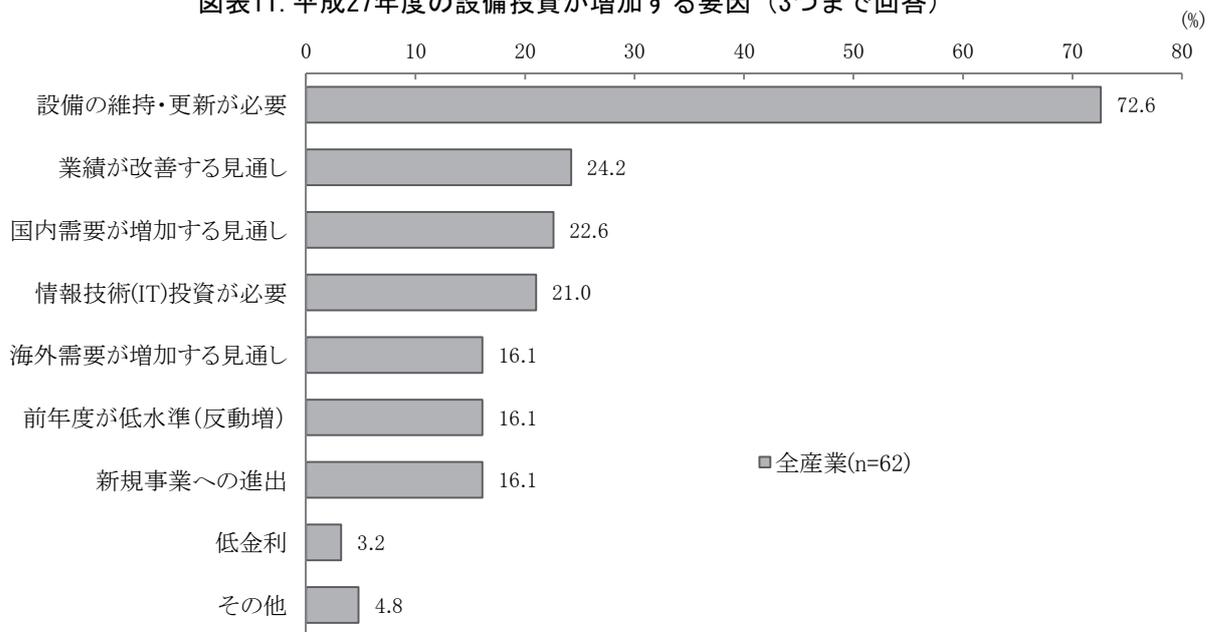
□非常に過剰 □過剰 ■適正 ■不足 □非常に不足 ■無回答

図表10. 設備投資（前年度比）

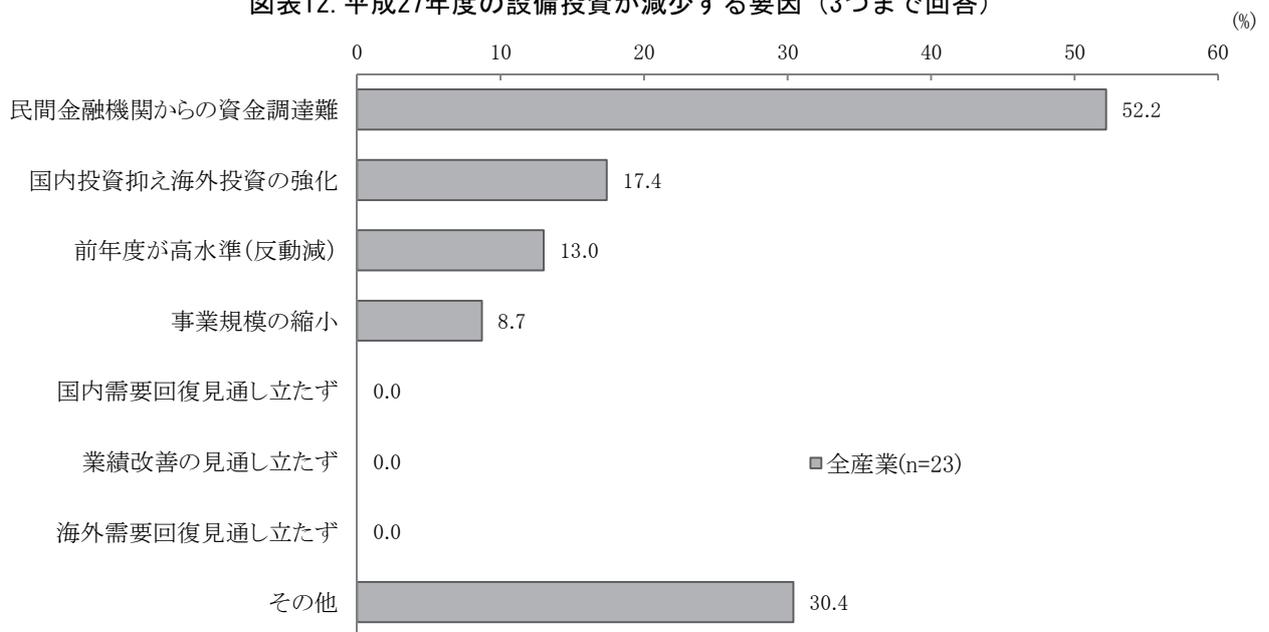


□増加 □横ばい ■減少 ■無回答

図表11. 平成27年度の設備投資が増加する要因（3つまで回答）



図表12. 平成27年度の設備投資が減少する要因（3つまで回答）

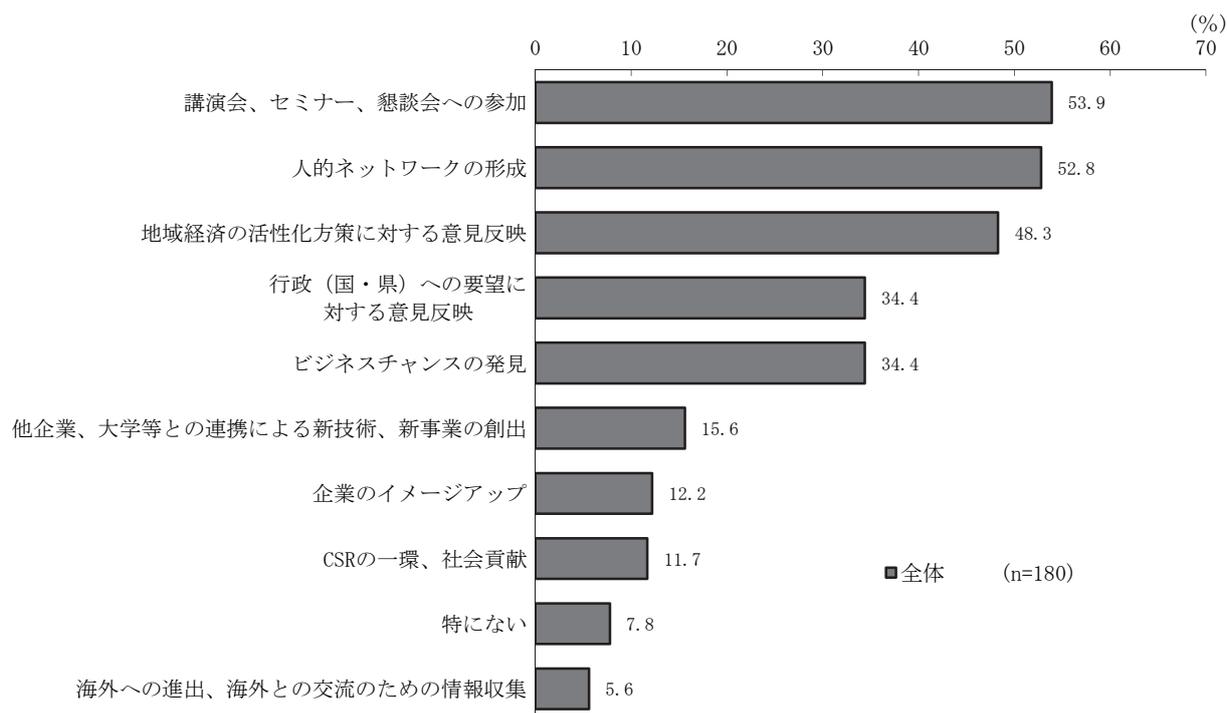


IV. その他

当連合会の会員としてのメリット

- ・ 会員の半数が講演会、セミナー、懇談会への参加を会員としてのメリットと答えている。(図表13)
- ・ 同じく半数が人的ネットワークの形成、地域経済の活性化方策に対する意見反映をメリットとして答えている。ついで行政(国・県)への要望に対する意見反映、ビジネスチャンスの発見となっている。
- ・ 他企業、大学等との連携による新技術、新事業の創出は15.6%となっている。

図表13. 当連合会の会員メリット

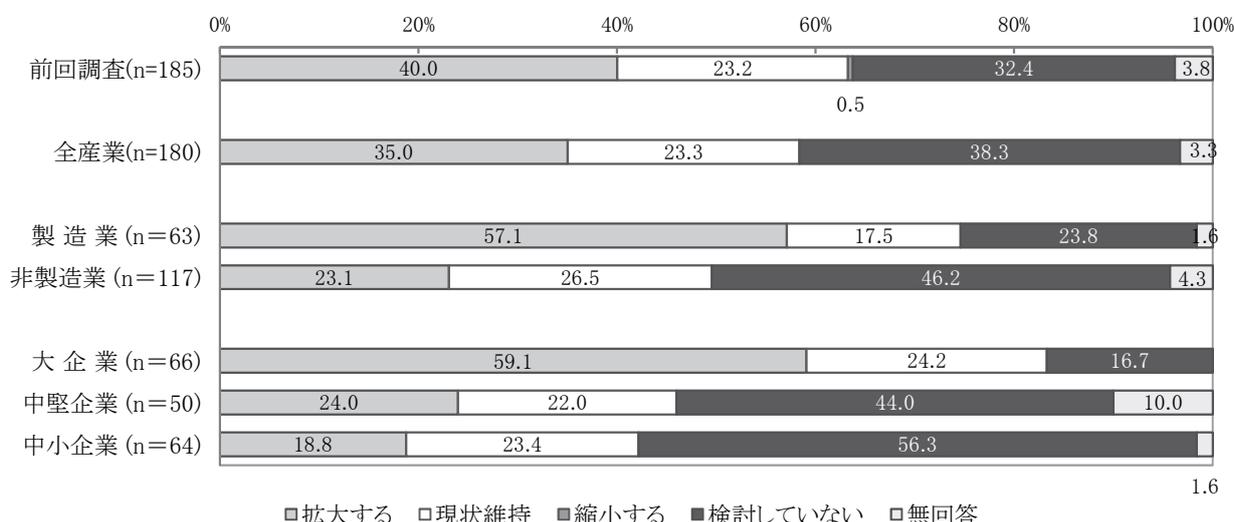


IV. その他

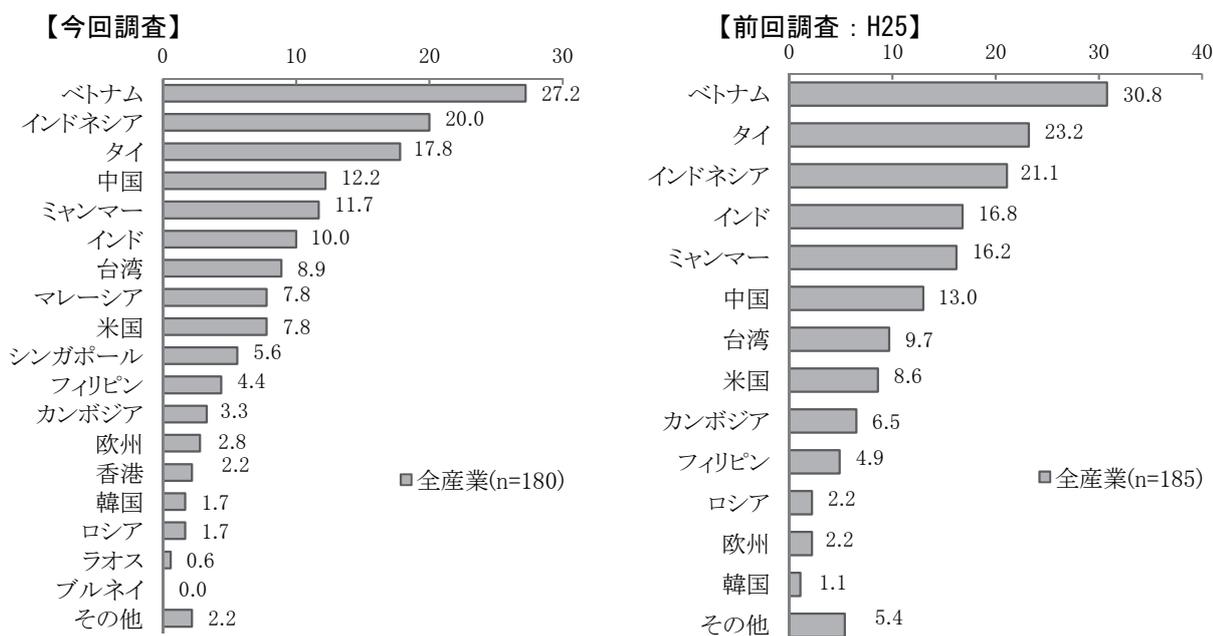
貴社の国際化に関する考えについて

- ・ 今後、国際化について「拡大する」と答えた企業は前回調査（H25）40%に対し35%に減少している。「現状維持」は23.3%でほぼ変わらない結果であった。
- ・ 業種別に見ると「拡大する」と答えた企業は製造業で57.1%であるのに対し、非製造業では23.1%となっている。また、企業の規模別に見ると大企業が59.1%、中堅企業が24.0%、中小企業が18.8%と規模が大きいほど国際化が進むと見ている。（図表14）
- ・ 今後、当地域としてより国際化のメリットを得ていくためには、国際化の裾野を中堅・中小企業にも広げていくことが課題といえる。
- ・ 今後、生産拠点または市場として有望な国・地域について、前回調査同様にASEAN諸国とする回答が多かった。ベスト3は順位は入れ替わっているが前回調査と同じくベトナム（27.2%）、インドネシア（20.0%）、タイ（17.8%）の3か国が占めた。（図表15）
- ・ 今回マレーシア、シンガポールなどが有望な国として新たにあげられた。

図表14. 国際化について



図表15. 有望な国・地域（3つまで回答）

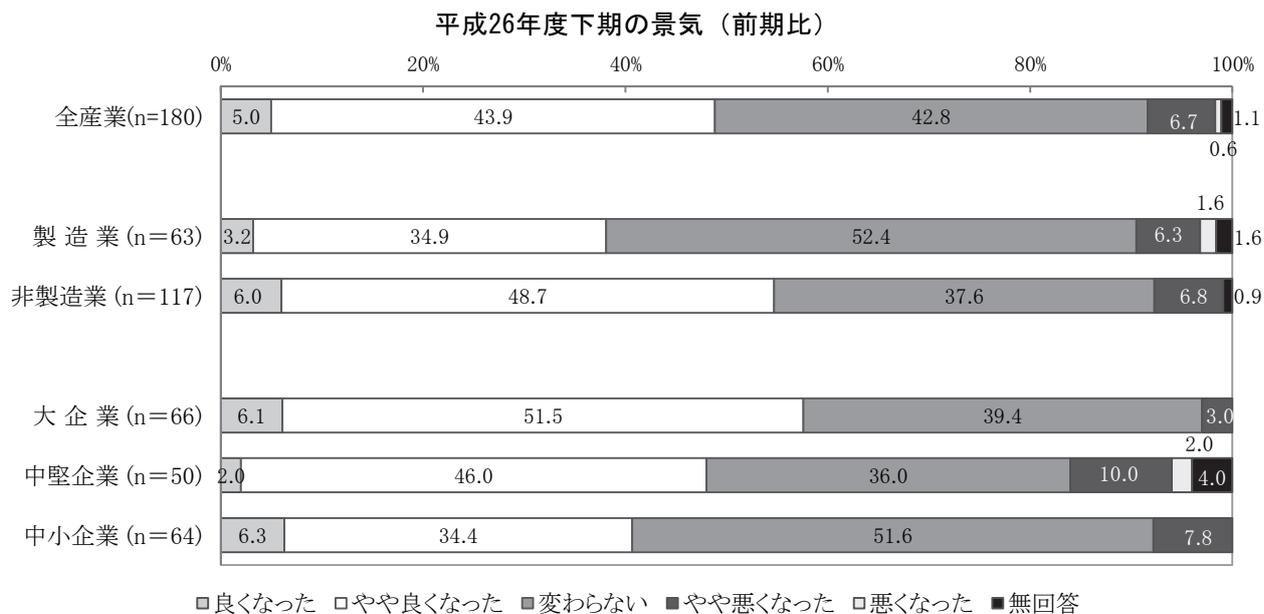


参考(アンケート調査結果)

I 景気動向

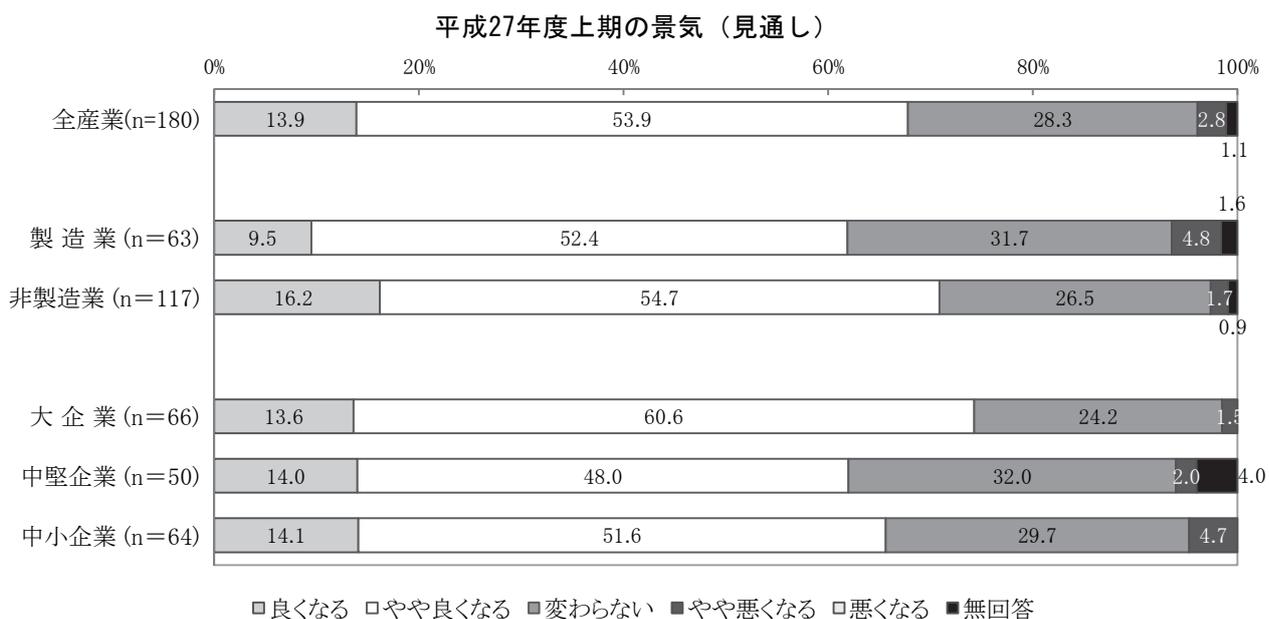
Q.1

北陸地域の平成26年度下期(10月～3月)の景気は平成26年度上期(4月～9月)に比べてどのように変化したと思われますか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



Q.2

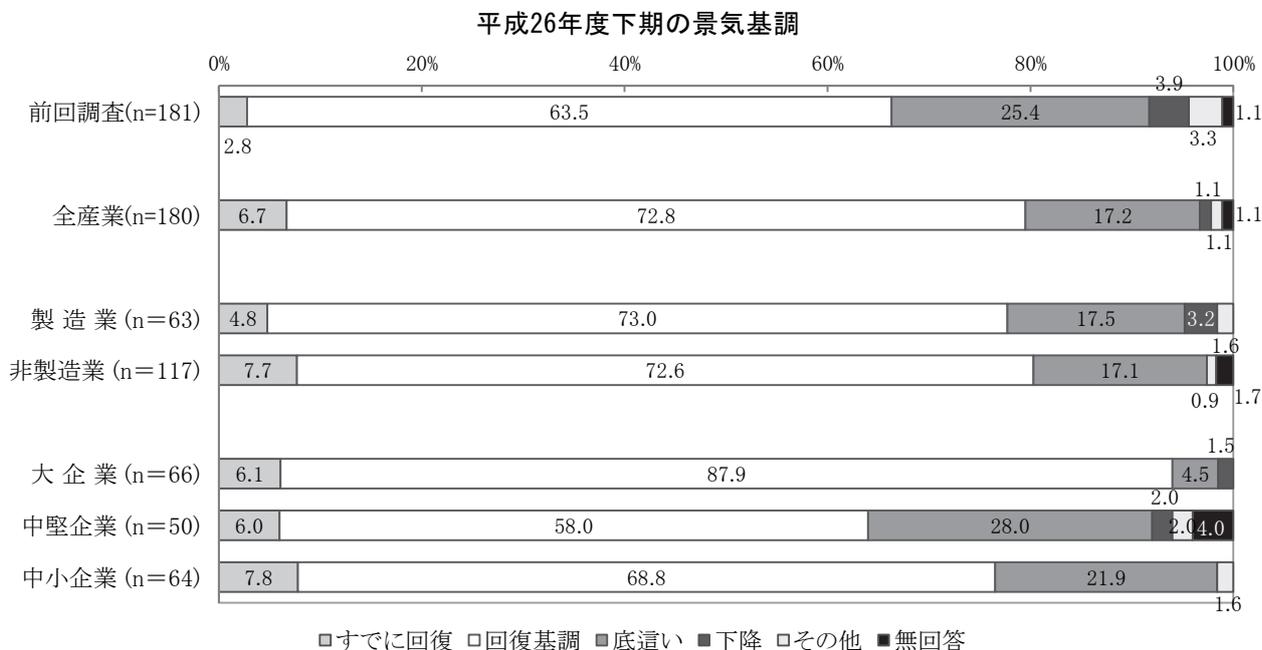
北陸地域の平成27年度上期(4月～9月)の景気は平成26年度下期(10月～3月)に比べてどのように変化すると思われますか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



I 景気動向

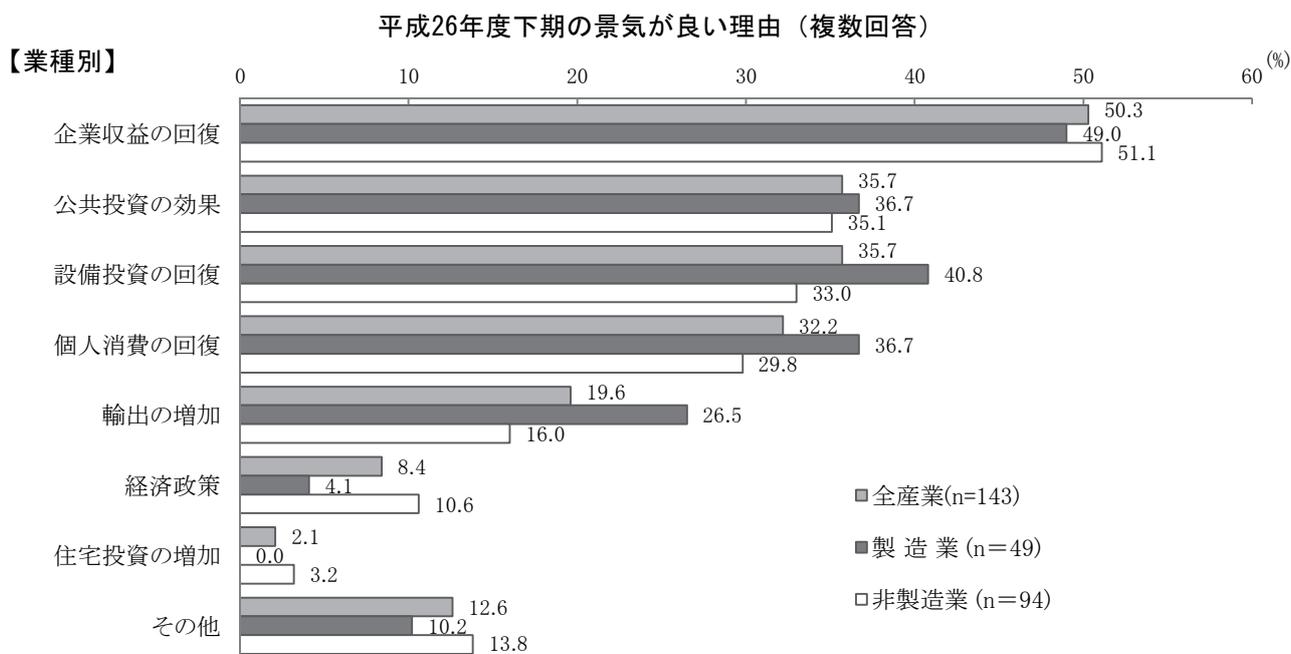
Q.3

平成26年度下期(10月～3月)の北陸地域の景気は基調として以下のどの局面にあると判断されていますか。



Q.4

Q.3で「すでに回復」「回復基調」と回答された方へ
平成26年度下期(10月～3月)の景気が良いのは何によるものだと思いますか。(複数回答可)



◎経済政策の具体的な回答

- ・アベノミクス
- ・設備投資を後押しする補助事業・税制

◎その他の具体的な回答

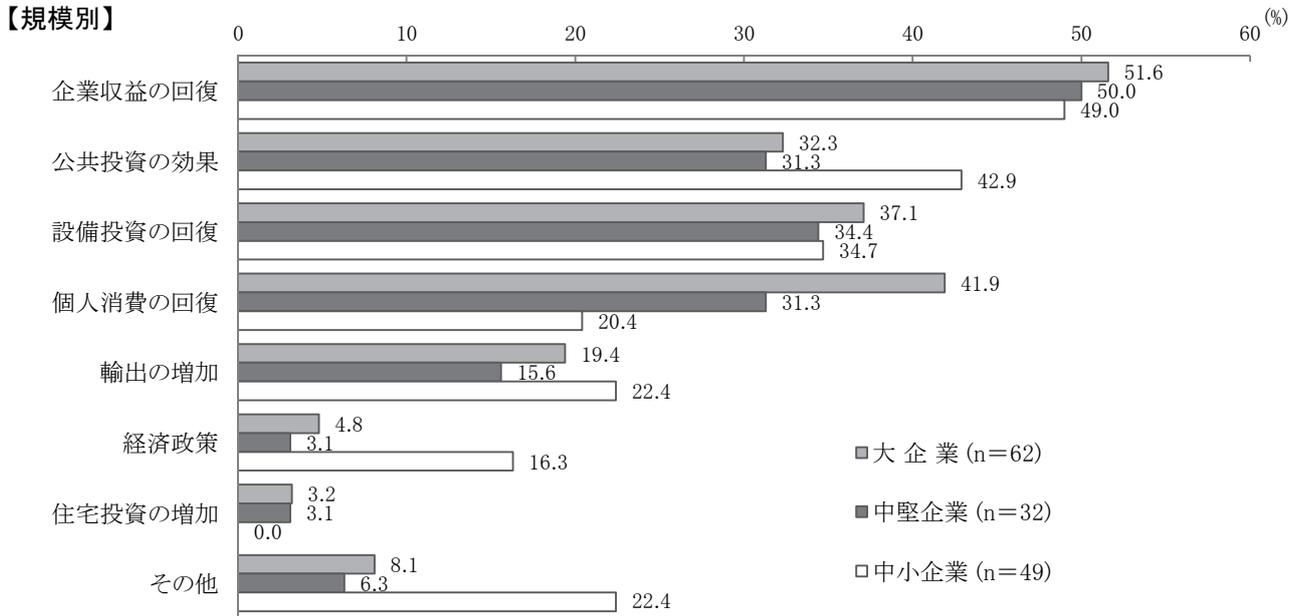
- ・北陸新幹線関連
- ・原油価格の下落、資源安
- ・円安・株高

I 景気動向

Q.4

Q.3で「すでに回復」「回復基調」と回答された方へ
 平成26年度下期(10月～3月)の景気が良いのは何によるものだと思いますか。(複数回答可)

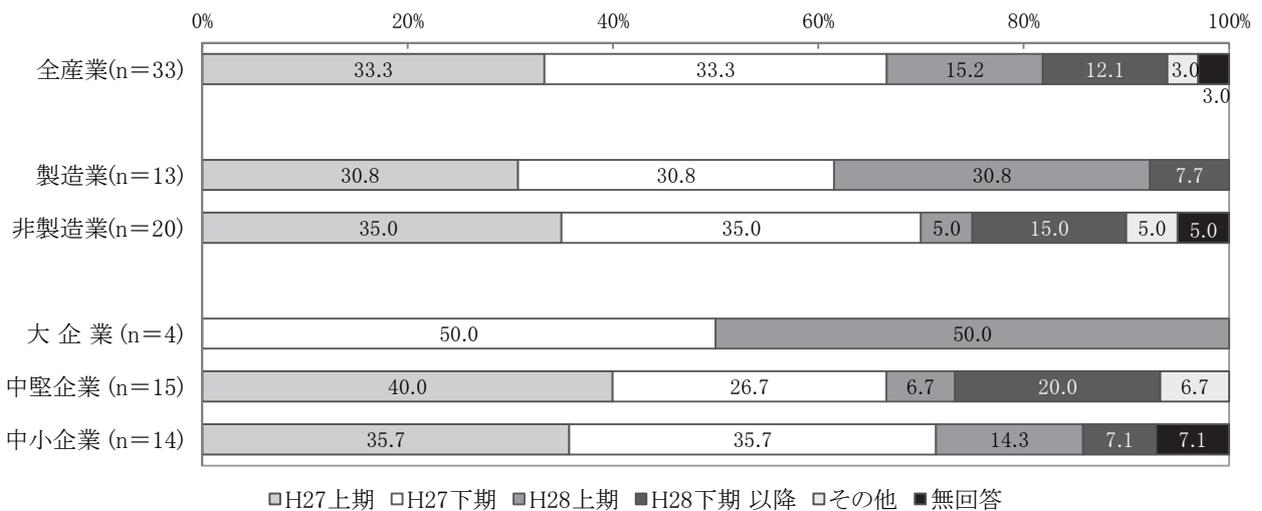
平成26年度下期の景気が良い理由(複数回答)



Q.5

Q.3で「底這い」「下降」と回答された方へ
 北陸地域の景気が今後回復に転じると予想される時期はいつ頃と思われますか。

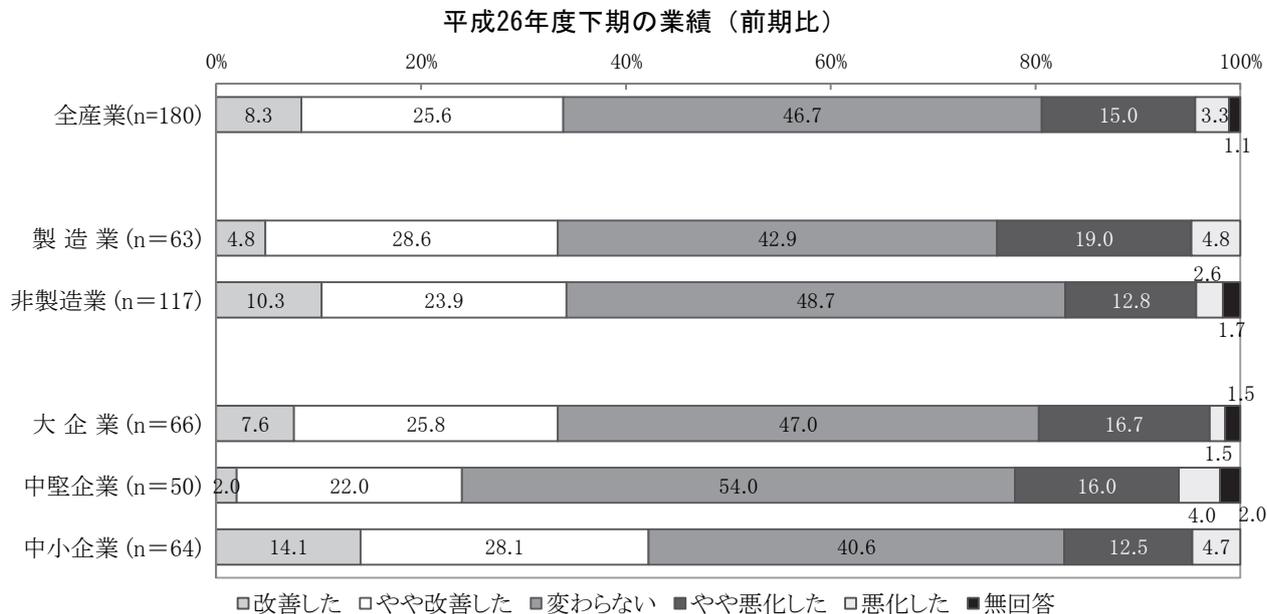
景気が回復に転じる時期



II 業績

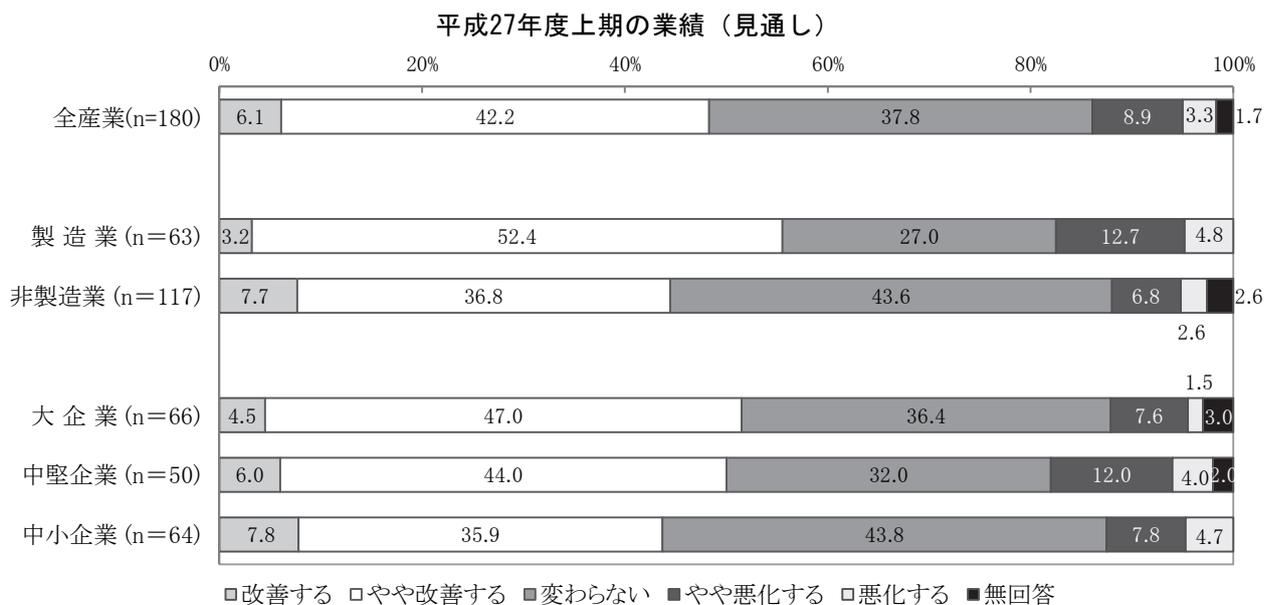
Q.1

貴社の平成26年度下期(10月～3月)の業績は、平成26年度上期(4月～9月)に比べてどのように変化しましたか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



Q.2

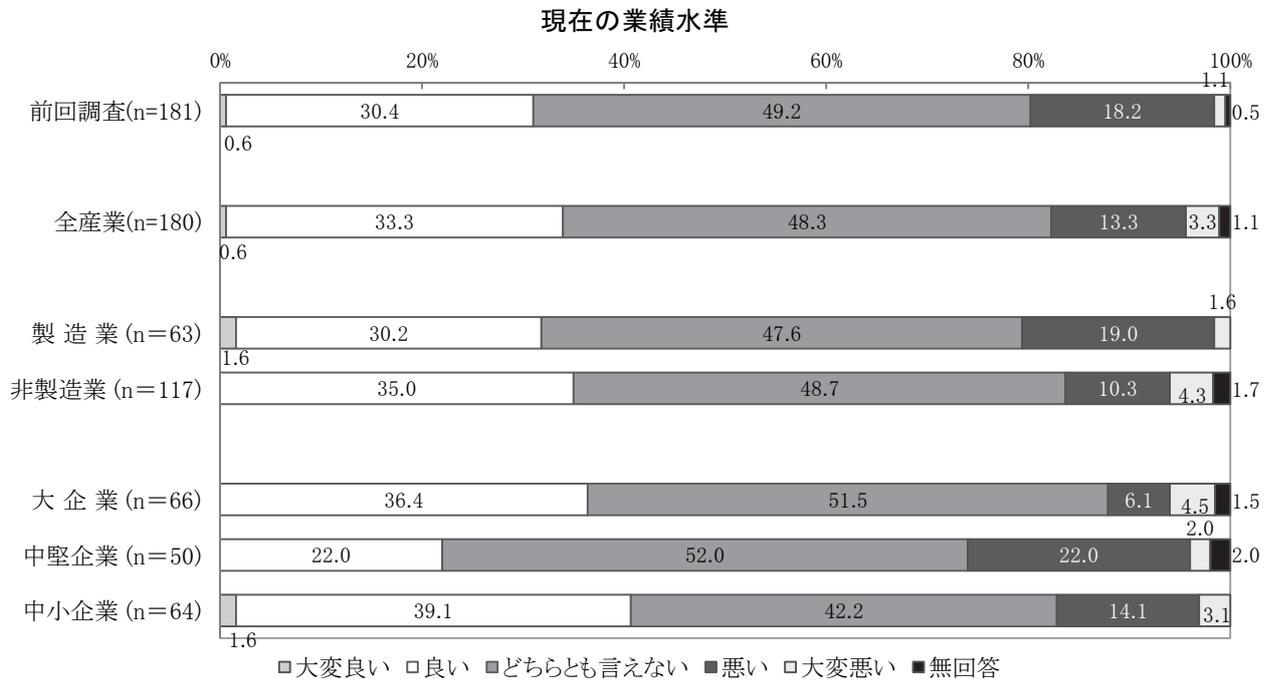
貴社の平成27年度上期(4月～9月)の業績は、平成26年度下期(10月～3月)に比べてどのように変化すると思われますか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



II 業績

Q.3

現在の貴社の業績水準についてどうお考えですか。

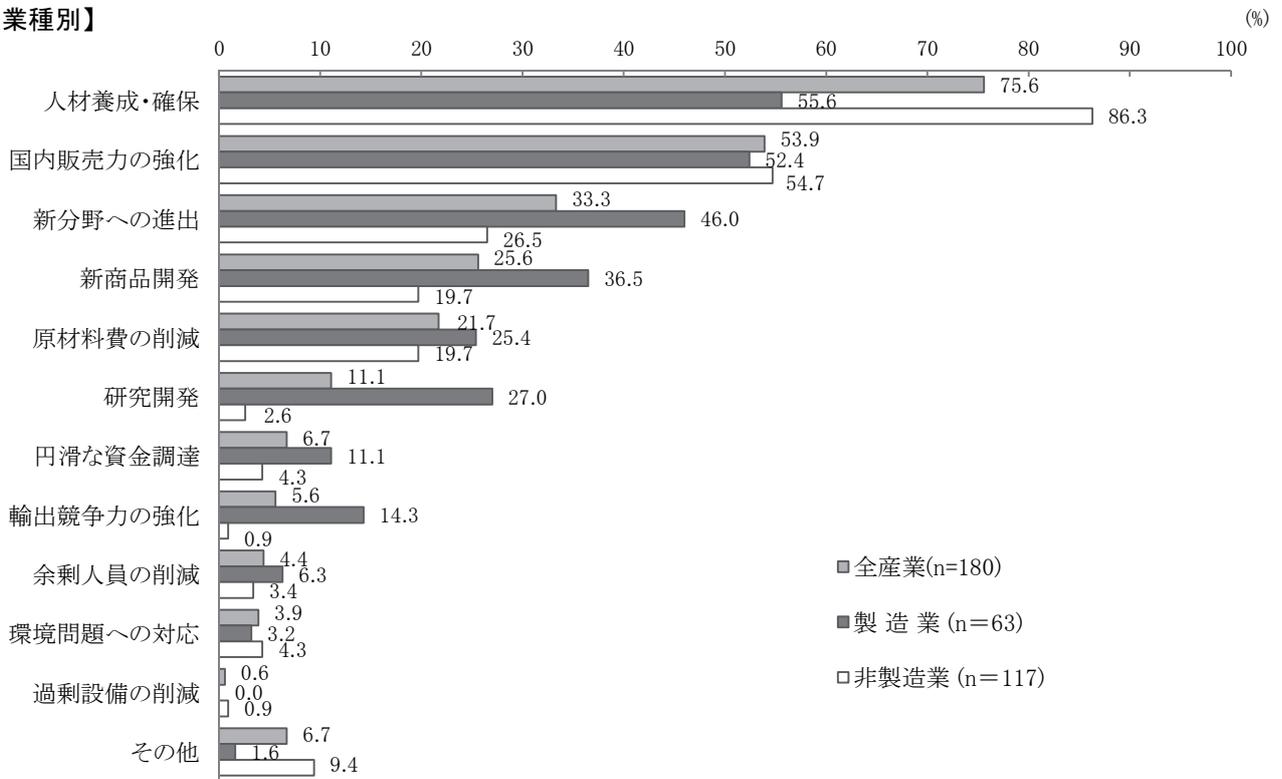


Q.4

貴社にとっての経営上の課題は、どのような点でしょうか。(3つまで回答可)

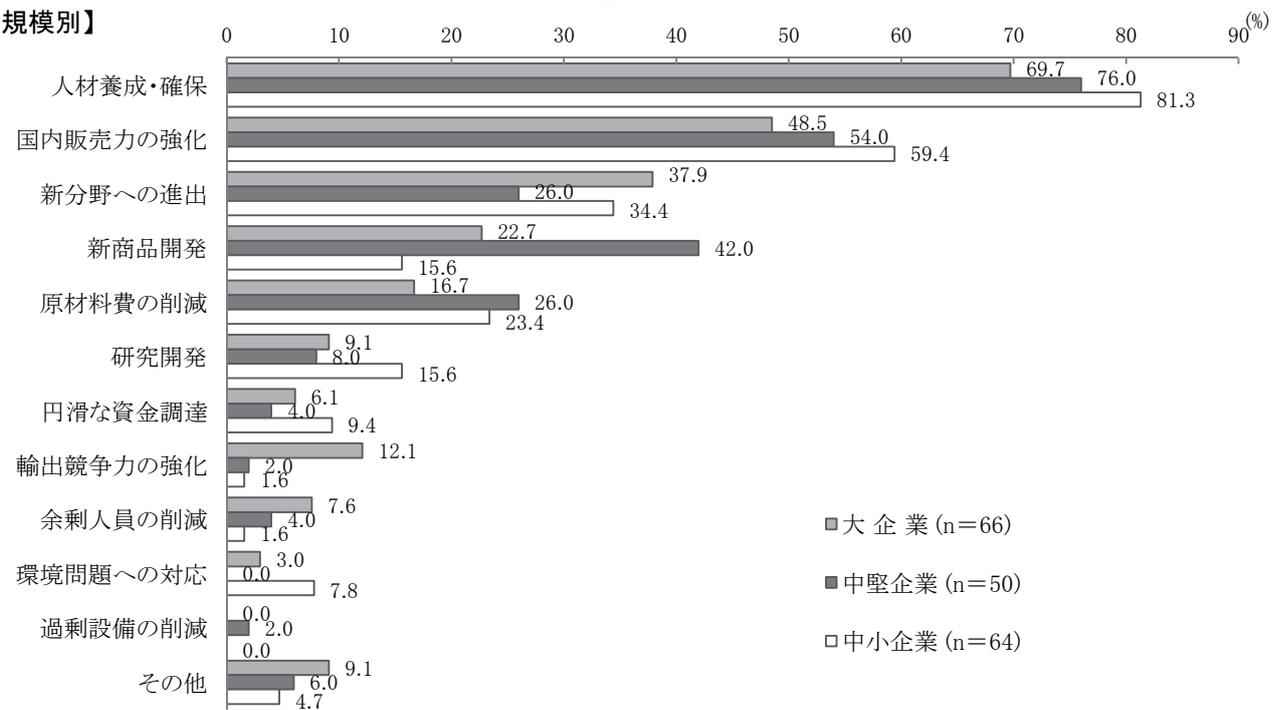
経営上の課題 (3つまで回答)

【業種別】



経営上の課題 (3つまで回答)

【規模別】

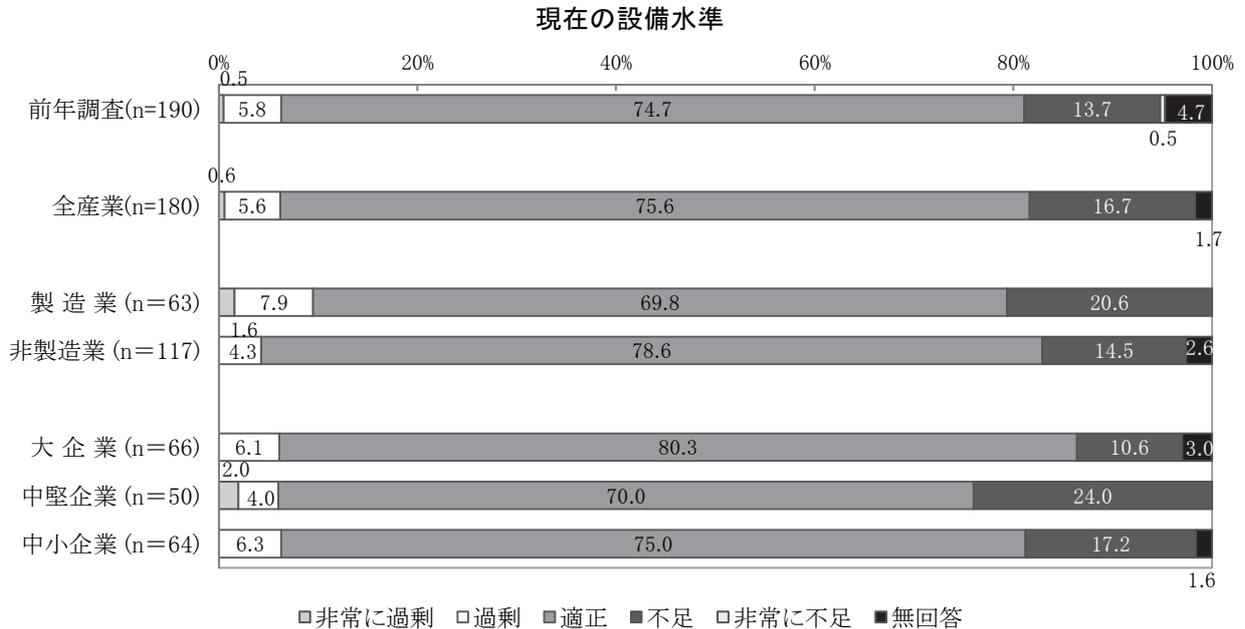


◎その他の具体的な回答
・税制改革に対する対応

III 設備投資

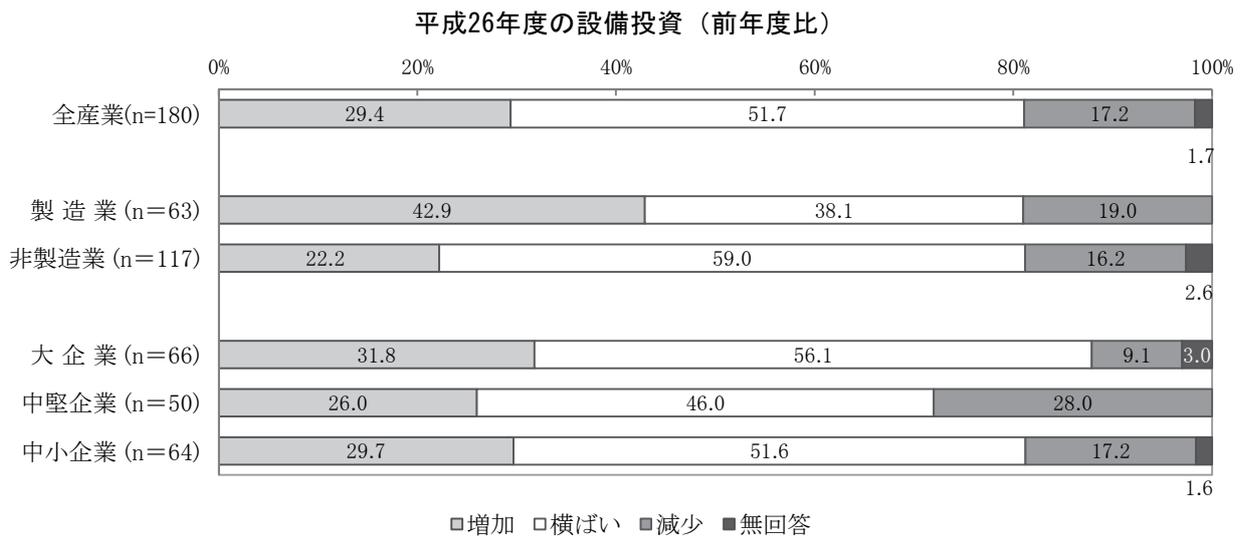
Q.1

貴社の現在の設備水準はどうか。



Q.2

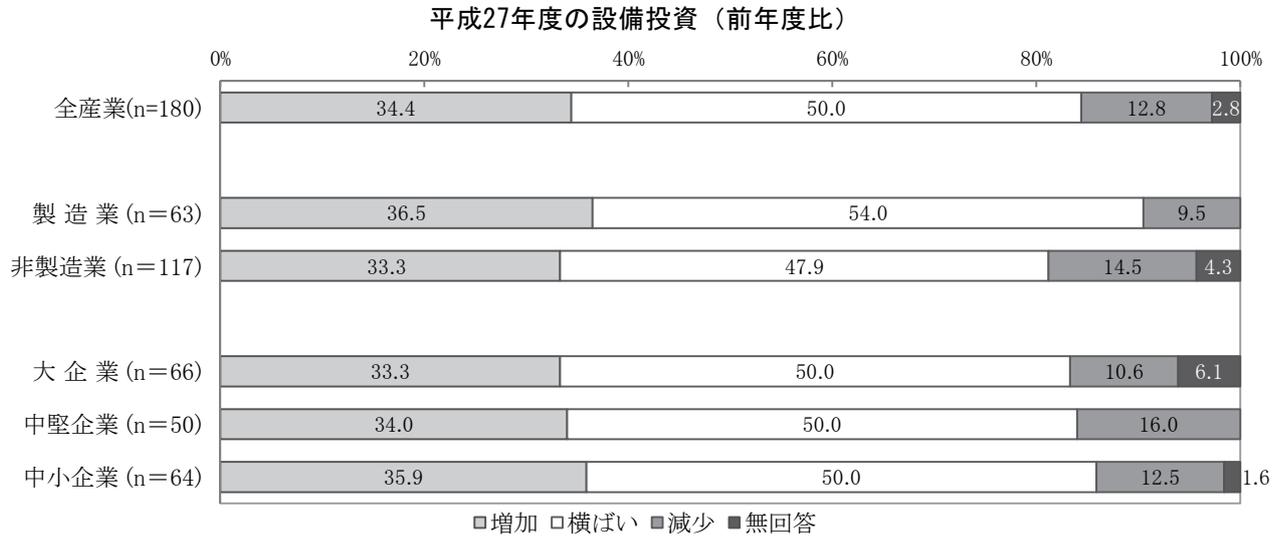
貴社の平成26年度の設備投資は平成25年度に比べ、増加しましたか、減少しましたか。



III 設備投資

Q.3

貴社の平成27年度の設備投資は平成26年度に比べ、増加する見込みですか、減少する見込みですか。

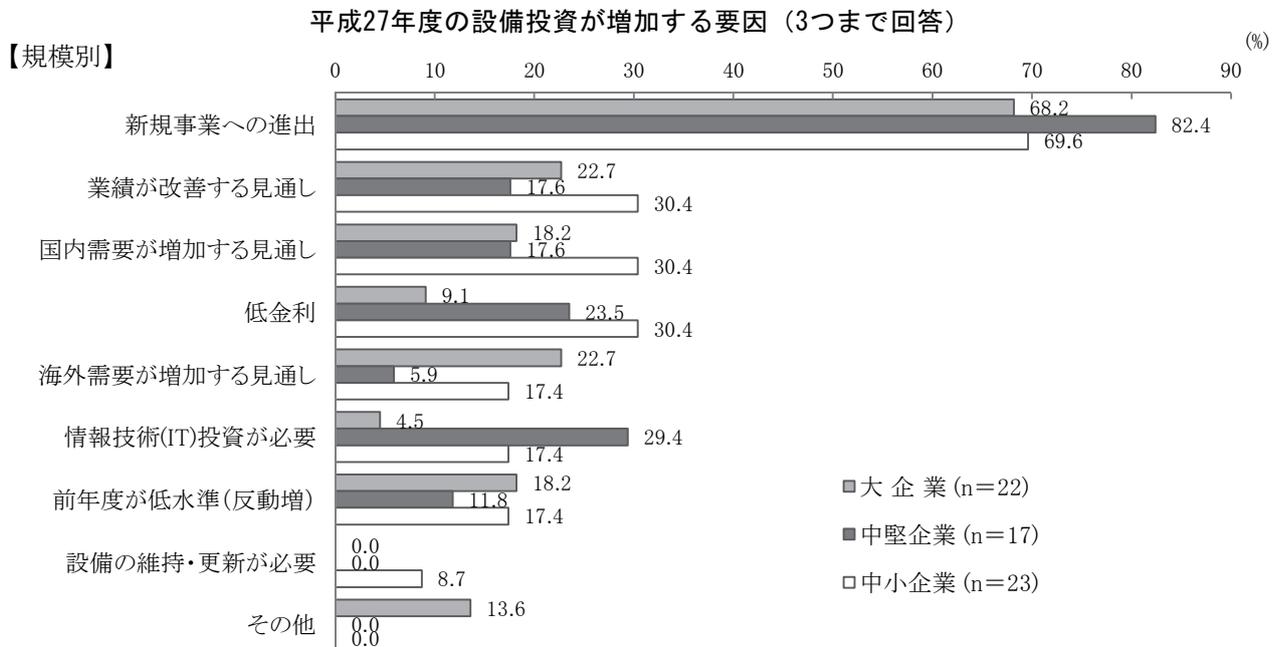
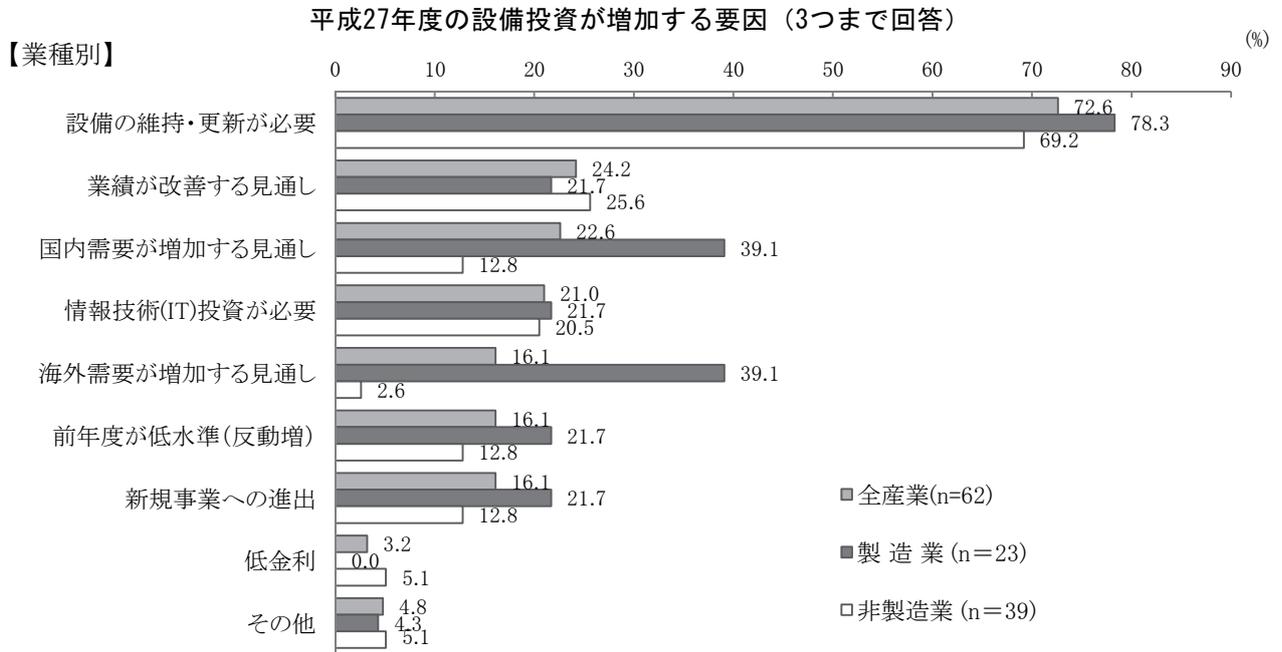


III 設備投資

Q.4

Q.3で「増加する」と回答された方へ

平成27年度の設備投資が、平成26年度と比較して増加する要因をお答えください。（3つまで回答可）

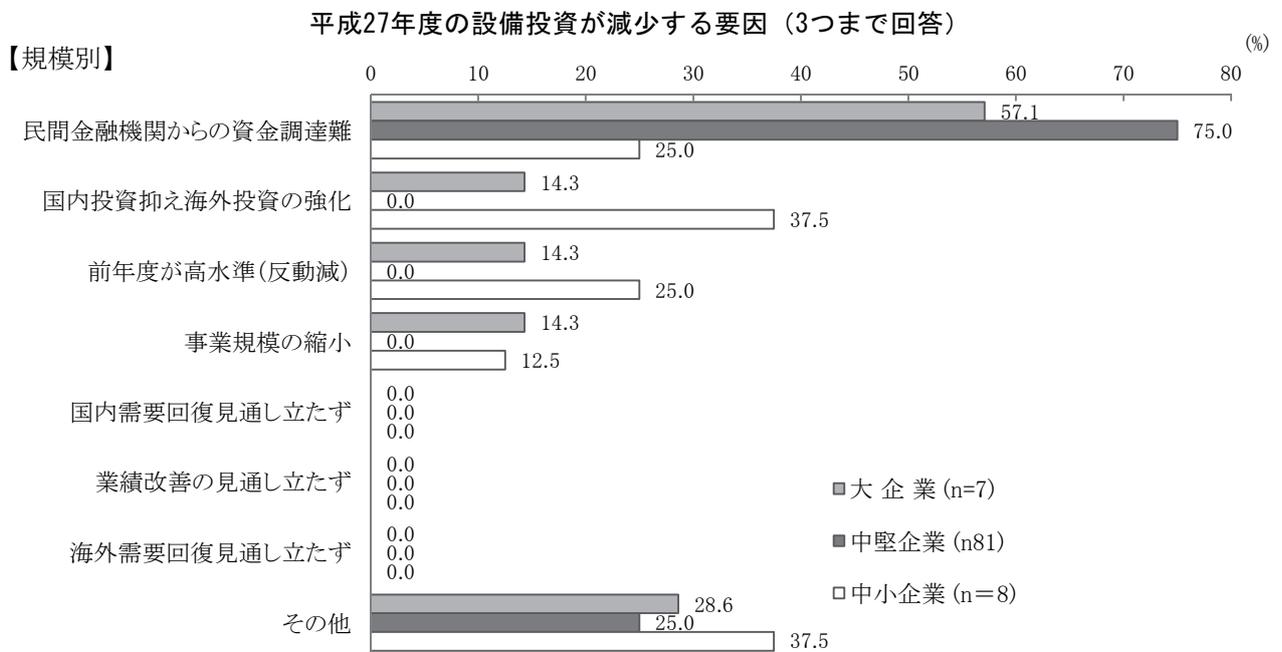
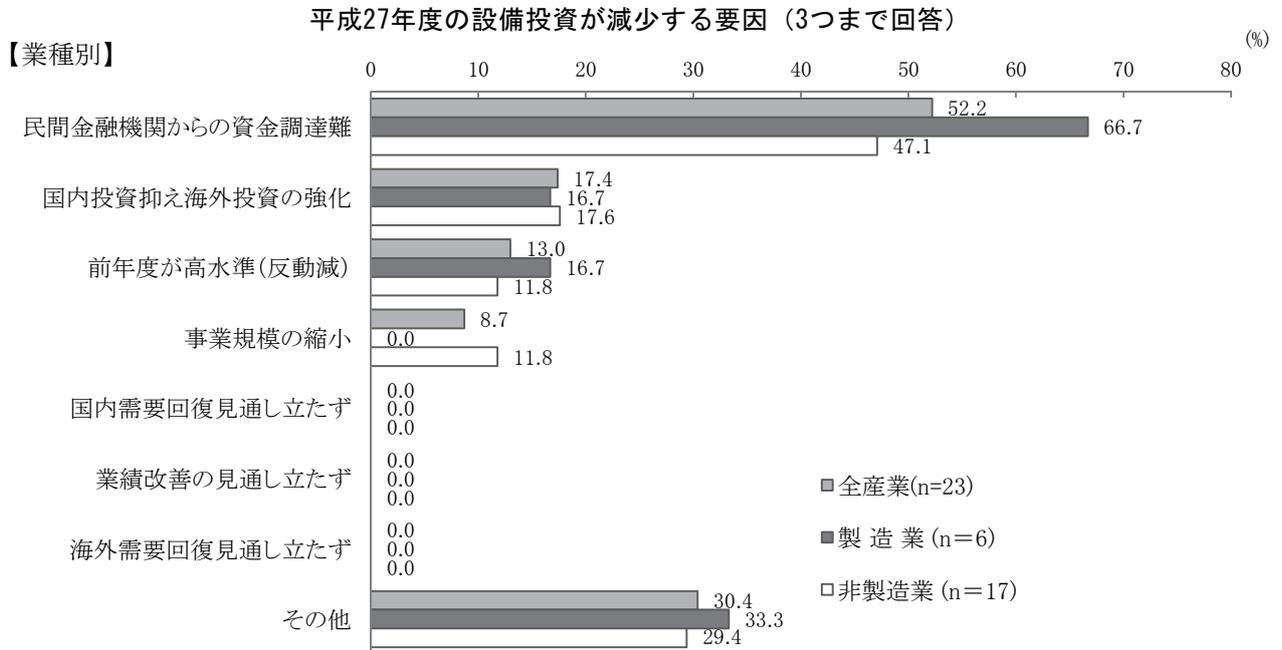


III 設備投資

Q.5

Q.3で「減少する」と回答された方へ

平成27年度の設備投資が、平成26年度と比較して減少する要因をお答えください。(3つまで回答可)



◎その他の具体的な回答

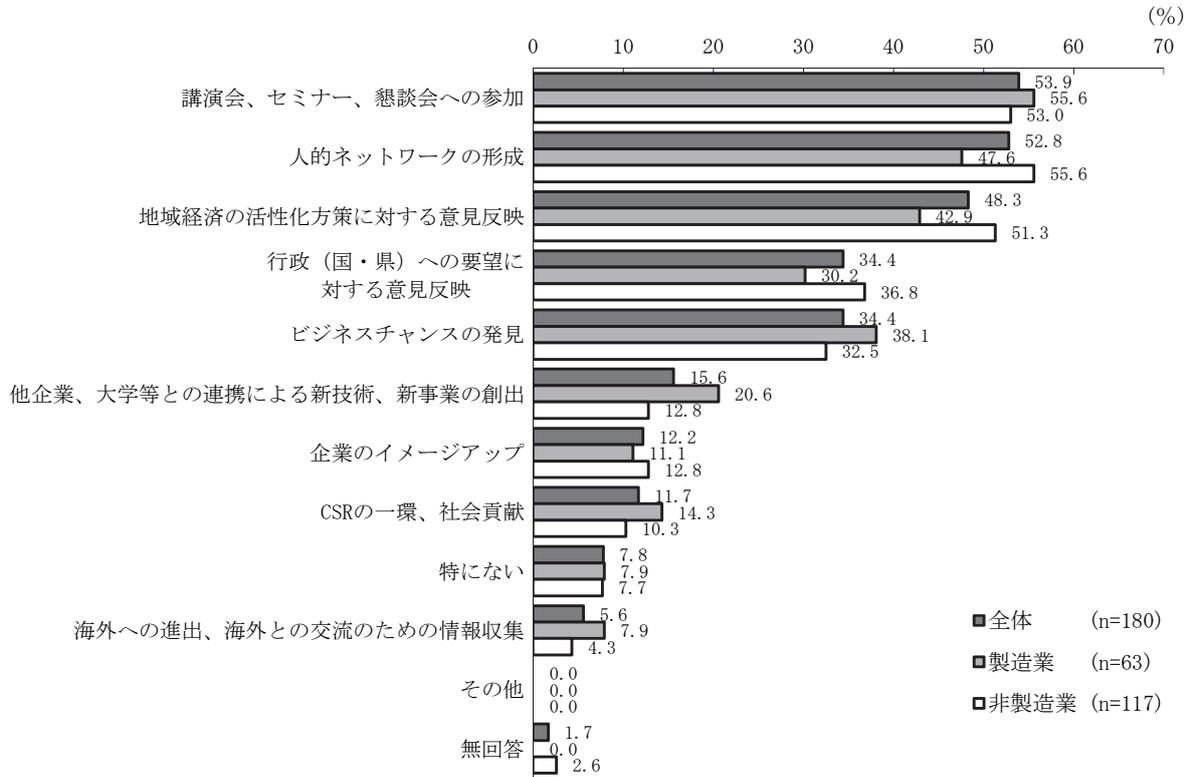
- ・ 新規投資プロジェクトが完了
- ・ 北陸新幹線関係がひと段落した
- ・ 需要見合いによる設備投資が一巡した

IV その他(当連合会の会員としてのメリット)

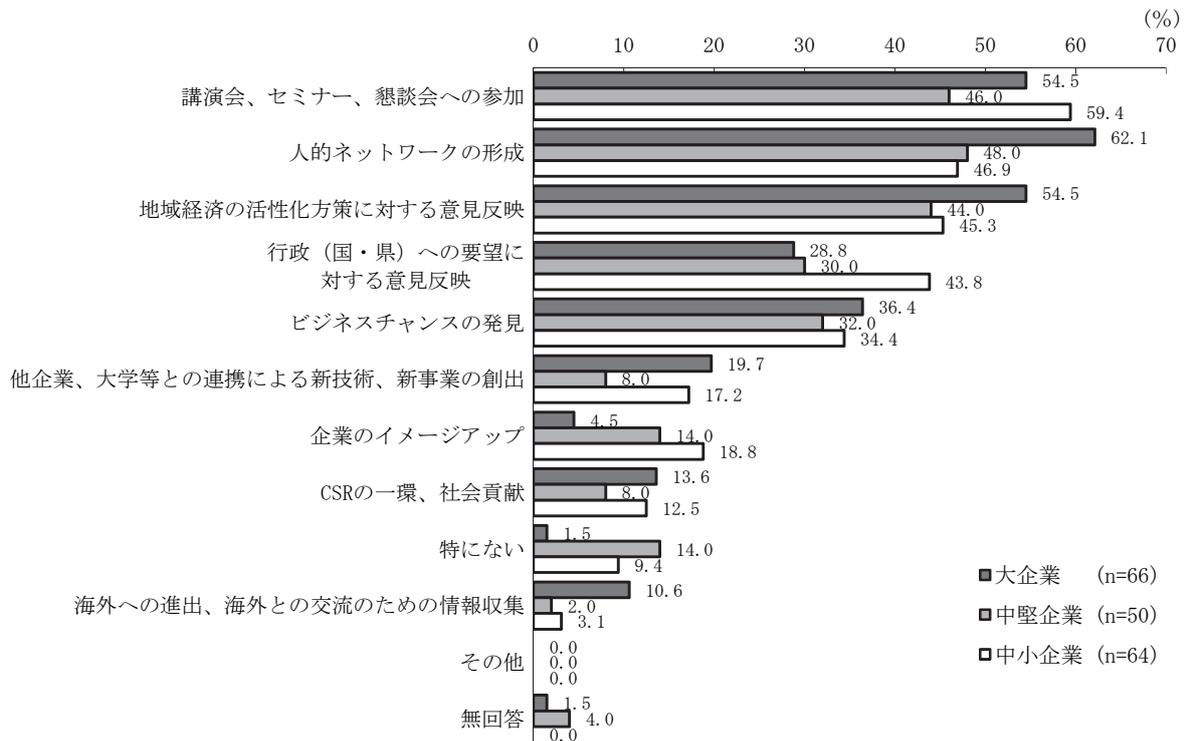
Q.1

当連合会の会員としてのメリットは何ですか。〈複数回答可〉

【業種別】



【規模別】



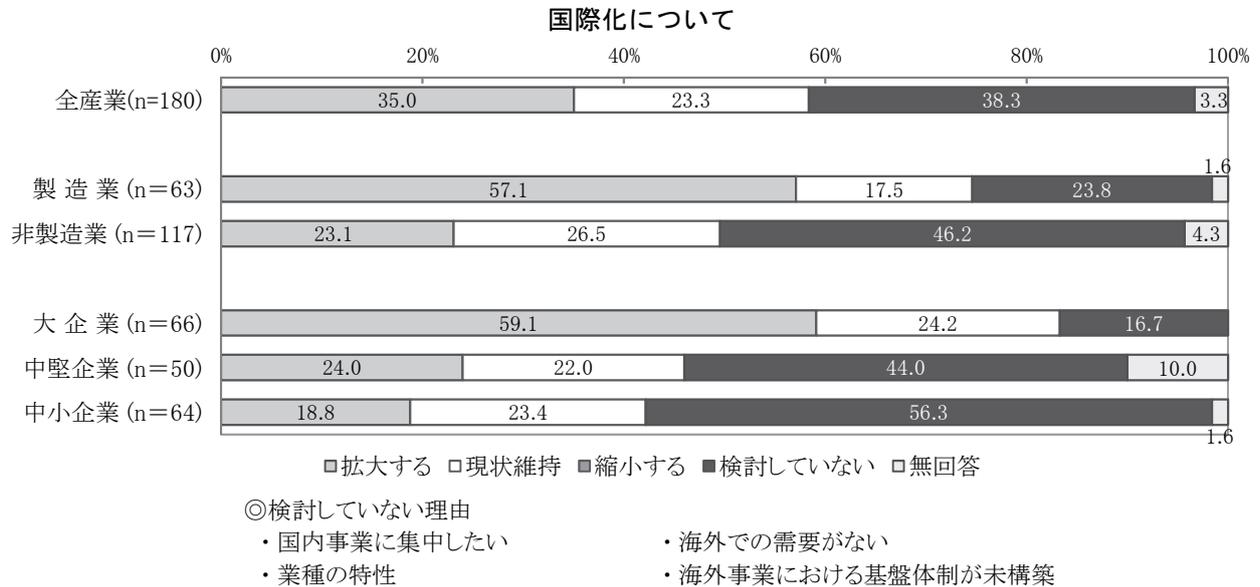
IV その他(貴社の国際化)

貴社の国際化(※)に関する考えについてお聞きします。

(※ 海外進出だけでなく、貿易取引や海外企業との提携など幅広い企業活動を指す)

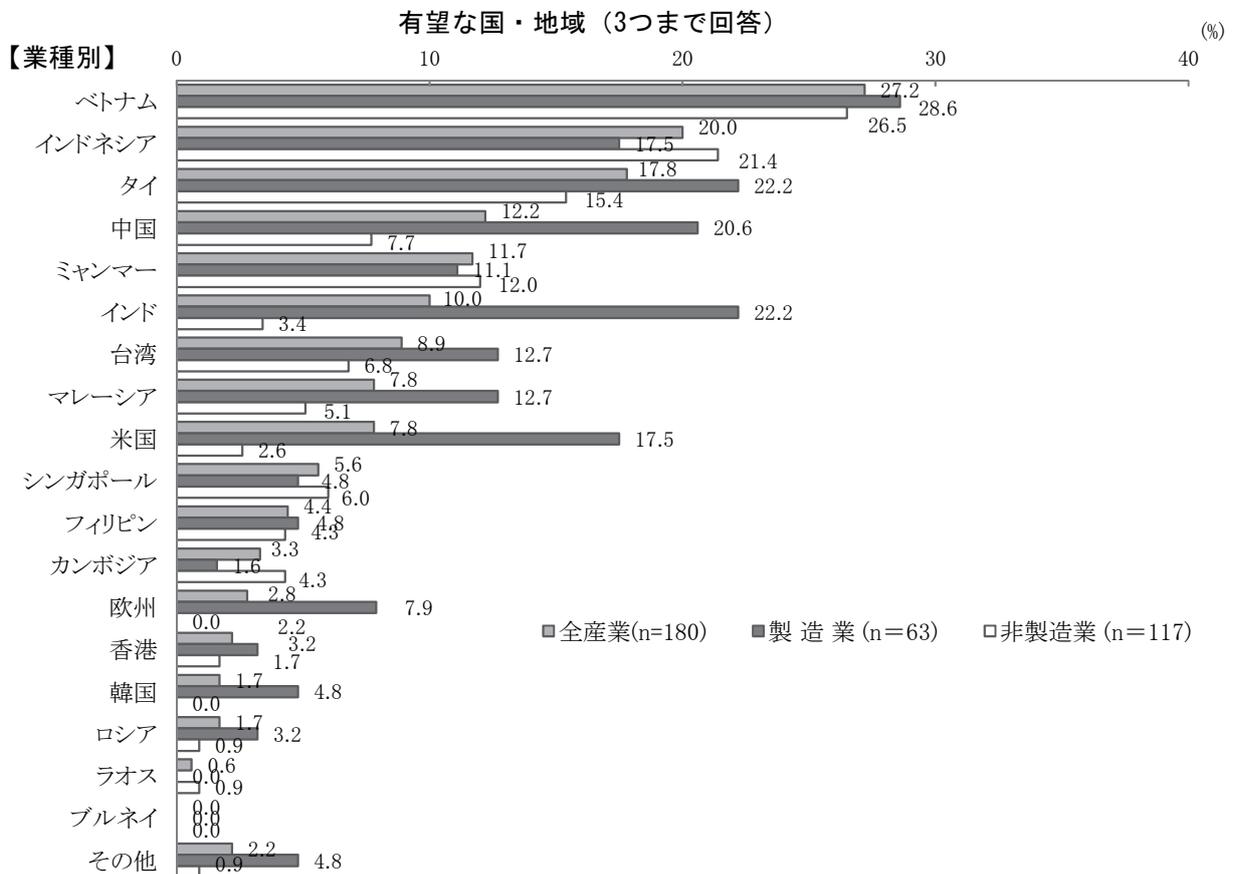
Q.2

貴社は国際化について、今後どのように取り組みますか。



Q.3

今後5年程度で、生産拠点または市場として有望な国・地域はどこですか。
また、その理由は何ですか。(3つまで回答可)



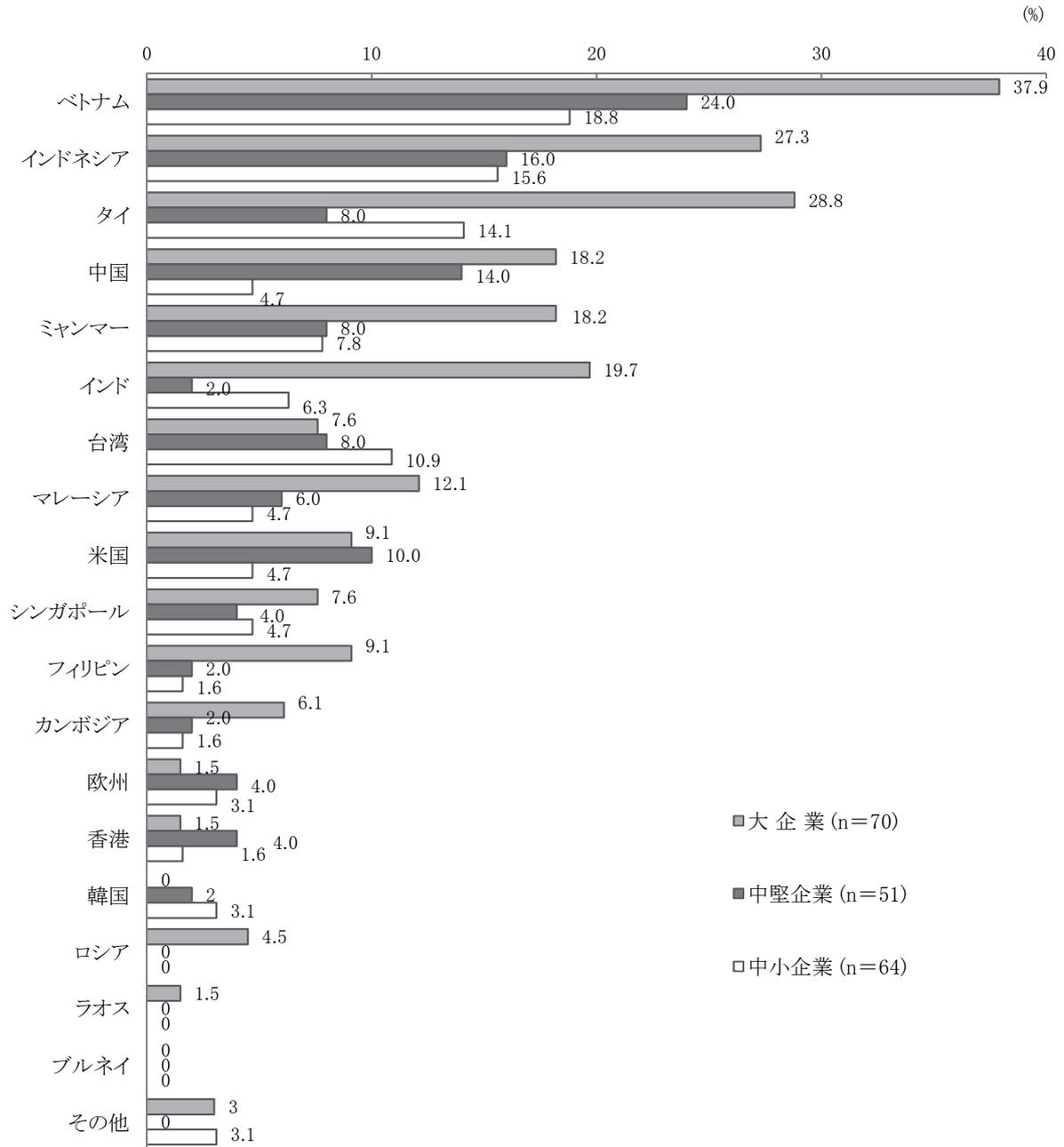
IV その他(貴社の国際化)

Q.3

今後5年程度で、生産拠点または市場として有望な国・地域はどこですか。
また、その理由は何ですか。(3つまで回答可)

有望な国・地域 (3つまで回答)

【規模別】



◎欧州の具体的な国名

- ・ ドイツ
- ・ イギリス
- ・ オーストリア
- ・ フランス
- ・ イタリア

◎ その他の具体的な国名

- ・ オーストラリア
- ・ メキシコ
- ・ 中東
- ・ バングラディッシュ

平成27年4月16日発行

北陸経済連合会

HOKURIKU ECONOMIC FEDERATION

〒920-0981 金沢市片町2-2-15 北国ビルディング4階

TEL : 076-232-0472 FAX : 076-262-8127

e-mail info@hokkeiren.gr.jp

URL <http://www.hokkeiren.gr.jp>

北陸物語 **facebook**

<https://www.facebook.com/hokuriku.monogatari>